

中山の園グループだより

No.118

かがやいた! いわて国体

ワークなかやま
こぶし



2016希望郷いわて大会第16回全国障害者スポーツ大会ペタンク(オープン競技)が10月23日(日)に戸町総合運動公園にて行われました。「ワークなかやま」からは2チーム、「こぶし」からは1チームが参加し、総勢32チームで大会を盛り上げました。「ワークなかやま」は決勝リーグへ進出しました。「こぶし」は見事3位入賞し、「こぶし」は見事3位入賞し、戸町長杯をいただきました。賞状と大きなトロフィーを受け取り、誇らしげな様子が窺えました。

参加した利用者からは、「緊張したけど楽しかった」「点数はあまりよくなかったが、結果的に入賞できてうれしかった。」等の声が聞かれており、とても有意義な大会への参加となりました。

ワークなかやま 遠山 幸恵
こぶし 藤原 敏明

☆ふたば

生活介護事業所「ふたば」では、「卓球バレー」に参加しました。惜しくも入賞とはなりませんでしたが、利用者の皆さんは達成感にあふれた表情でした。

☆りんどう

「障害者支援施設「りんどう」では、田中康貴生活支援員が「フライングディスク」で審判を努めました。また、大坊英一生活支援員は、身体障がい者(聴覚障がい者)の部バレーボール競技に選手として参加しました。さらに、情報支援ボランティア(手書き要約筆記・筆談)のリーダーも努めました。

内容

- ・[表紙]かがやいた!いわて国体
- ・大盛況!第37回中山の園まつりを終えて
- ・特集~地域交流~ 縄文公園清掃ボランティア
- ・「ありがとう!」~被災からの生活~
- ・好評でした!ふたば作品展
- ・[中山の園写真館]~中山の園各施設・各事業所

第118号

2016年12月26日

発行:中山の園グループ
岩手県二戸郡一戸町中山字軽井沢139-1
TEL:0195-35-2121
発行責任者:中山の園所長 鈴木 豊

中山の園写真館

やまゆり



奥中山中学校との交流会
(ハンドベル演奏会)

ひこうせん



盛岡広域振興局土木部岩手土木センターとの交流

つつし



園祭りの様子

かたくり



かたくり作品展(奥中山公民館)の様子

こぶし



ペタンク競技表彰式

りんどう



奥中山農業祭へ出かけました

お知らせ \NEWS\

●中山の園では各施設の備品(テント、太鼓、発電機等)の貸出をしています。体育館やグラウンドの使用も可能です。
【問い合わせ・中山の園
☎0195-35-2121】

編集後記

中山の園は、周りを森林に囲まれた自然豊かな場所にあり、冬はたくさんの雪が降ります。赴任した昨年は雪の多さに驚きましたが、「昨年は少なかった」と聞き、さらに驚いたことを思い出します。今年もそんな季節になりました。118号で今年度最後の発行となりました。来年も「中山の園グループだより」をよろしく願ひ致します。(りんどう 松澤)

中山の園では、各施設に5〜9人ずつお世話になり、少しづつではありますが利用者も慣れてきております。

Sさんは、「こぶしの生活に慣れました。食事もおいしいし、1週間のスケジュールが決まらっていて、活動が楽しいです。具体的にはカラオケ、塗り

8月30日の夜に、台風10号の影響で松山荘の施設内に濁流が流れ込み、不安な夜を過ごしました。夜が明けても面泥水でとても生活できるような状態ではありませんでした。たくさんのボランティアや地域の方々、他施設職員のご協力のもと、やっとのことで松山荘内の集居室で生活ができるようになりました。

しかし、建物や機械などへの損傷が大きく内陸の施設(松風園、中山の園グループ)への避難を余儀なくされて現在に至っております。



早く施設の補修等が進み、一日でも早く松山荘に帰れることを利用者、職員ともに願っております。

それまでは、引き続きよろしくお祈りします。



絵を行っています。」と話しています。Uさんは、「松山荘を離れて二戸町に来たので、宮古にいた時のように、こちらの病院に通院したい。通院の計画をしてもらっているので安心です。」と意見を話しており、Yさんは、「素晴らしい施設だと思います。職員が親切です。利用者の方々も、みんな仲良く生活しています。」と話していました。

今年もたくさんの方々のご協力を得て、盛大に行うことができました。来年も9月に実施する事が決まりました。利用者、地域の皆さんと一緒に楽しめるような中山の園まつりになるようにしていきたいと考えています。

来年もどうぞよろしくお祈りいたします。

好評でした! ふたば作品展

ふたば 白畑 由貴子



生活介護事業所「ふたば」が主催する「ふたば作品展」は、昨年度から実施し、今年度で2回目の開催となりました。

昨年度はふたば及び中山グループ各施設の利用者の方々の作品の他、三愛学舎さんからも協力していただき生徒さんの作品を出展して頂きました。

今年は更に、みたけ支援校奥中山校さんからも協力をいただき、作品を出展して頂きました。

開催初日は所長も出席、セ

レモニーを行いました。出展作品は100点を超え、展示スペースが足りないほどでした。開催期間、延べ110人の方に来場していただきました。利用者の皆さんが、日々の活動の中で生み出した作品をたくさんの方々に見ていただくことができ、造形活動の励みになったものと思います。

開催場所：二戸・二戸エリア担部多目的ホール
開催期間：10月4日(火)〜13日(木)まで

大盛況!

第37回中山の園まつりを終えて

つじ 大渡 俊明

9月17日に第37回目となる中山の園まつりが開催されました。当日は雨の予報でしたが、最後まで天気が崩れる事なく、過ごしやすいうちで開催する事が出来ました。アトラクションでは祭り囃子や音頭上げ、鏡開きの後に地域の子ども達と元氣良く山車の運行を行い、その後、奥中山保育所のかわいのお遊戯エビカニックス、里山一座の踊り、一戸高校華一の創作舞踊、岩手民謡保存会の踊り、中山神楽保存会の子供神楽、保護者のカラオケ、山本先生のエレクトーン演奏、TEAM幸呼来のさんさ踊りなど、たくさんの方々に参加をいただきました。ひとつひとつ見ごたえがあり、利用者の皆さんからアンコールがあったり、飛び入りで一緒に踊ったりと楽しい時間を過ごしました。

出店では、一戸町物資共同納入組合、二戸圏域の事業所の皆さんで構成しているウィバル市場、あけぼの、上山農園など地域の方々のご協力をいただきました。スムーズやうどんなどどれも好評でした。利用者の方々はアトラクション見学や出店での買物など、お祭りを思い



思いに楽しんでいました。今年もたくさんの方々のご協力を得て、盛大に行うことができました。来年も9月に実施する事が決まりました。利用者、地域の皆さんと一緒に楽しめるような中山の園まつりになるようにしていきたいと考えています。

来年もどうぞよろしくお祈りいたします。



11月12日(土)に、御所野縄文公園の清掃ボランティアに「りんどう」の利用者が参加しました。公園内はたくさんの方々の落ち葉があり、参加した利用者は、箒で一生涯懸命に落ち葉を掃いていました。清掃中は、他の参加者と挨拶を交わしながら作業に取り組んでおり、地域住民との交流にもなりました。

障害者支援施設「りんどう」では、その他の活動として、地域の子供会を招待し、花火交流会も行っています。また今後は、地域の商店にご協力して頂き、施設で買い物を楽しめる「わくわくストア」を実施する予定です。その他にも実習生の受け入れやエコキャンプ活動等に取り組みしており、地域交流や社会貢献を目的とした活動を行っています。

特集 地域交流

縄文公園清掃 ボランティア

りんどう 松澤 佳奈